

九州大学超顕微解析研究センター
文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ事業 九大ハブ機関 共催

第244回 HVEM研究会 のお知らせ

令和7年9月11日

国立高等専門学校機構 新居浜工業高等専門学校の 當代光陽先生をお招きし、下記のように講演会を開催致します。皆様、奮ってご参加ください。

【日時】 令和7年 11月 28日(金) 13:30 ~ 14:30

【会場】 九州大学 伊都キャンパス
ウエスト2号館7階 703号室

【講演】 當代 光陽 先生
新居浜工業高等専門学校 環境材料工学科 准教授

「相変態の視点から見た次世代構造材料としてのチタン系合金」

広義のチタン系合金における相変態は機能発現やバラエティに富んだ微細組織形成を可能とし、このことは形状記憶合金、生体用・航空宇宙用構造材料、金属3Dプリンタによる造形、ハイエントロピー合金などの合金設計の基礎となっている。幅広いチタン系合金開発について相変態を軸に具体例を紹介するとともに、高専教員の目線から、我が国のマテリアル研究や顕微鏡学が置かれている状況について議論する。

.....
当研究会についてのお問い合わせは、下記の連絡先をお願いいたします。

HVEM研究会世話人：麻生 亮太郎・山崎 重人・嶋田 雄介
連絡先：超顕微解析研究センター事務室
E-mail: hvem_office@hvem.kyushu-u.ac.jp